

Title	東京歯科大学研究年報 : 平成11年度
Journal	東京歯科大学研究年報, (): -
URL	http://hdl.handle.net/10130/371
Right	

1. 英 語 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 草野 重行 十九，二十世紀のイギリス詩の研究（A93-1450-1）

助 教 授 柴家 嘉明 歯科衛生士のための歯科英語教育（A99-1450-1）

2. 成果の概要

1) オーエン

戦争詩人オーエンの代表作を主に音声面から考察し，技法の斬新性，特にパラライムの使用に焦点を当てた。

論 文

1. Kusano, S. : Beauty in terror: Pararhyme in wilfred Owen's "strange meeting", 東歯大教養系研究紀要 16, 41~49, 2000. 原著

2. 独 語 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 伊 東 正 夫 ウィーンおよび周縁域のモデルネにおけるPhantasieと主体性の諸相
講 師 清 水 真 哉 ヨーロッパ（特にドイツ語圏）の交通問題NGO

2. 成果の概要

1) ウィーンおよび周縁域のモデルネにおけるPhantasieと主体性の諸相

アドルノの「無」の概念を批判的にとらえることによって、ベルクの「微細な移行」の音楽を支える「沈黙」の特質を明らかにした。

ローマの劇作家ピランデッロをウィーンおよびプラハ・モデルネの潮流に位置づけ、『作家を探す六人の登場人物』の舞台における想像の位相について考察した。

現在、上記のテーマに関連して、主客不可分の現実性一般の在り方、またそれが開示される様態について、主としてヘルツマノフスキー、ホフマンスタールの作品を媒介にして考察している。

2) ヨーロッパ（特にドイツ語圏）の交通問題NGO

ドイツの交通問題NGOである「一般ドイツ自転車クラブ」の、歴史、活動理念、事業内容などについて、その本部および支部を訪ねて調査を行い、その結果を論文にまとめて発表した。

「一般ドイツ自転車クラブ」の高い理念、地元に着した地道な活動、着実な活動成果などについて、明らかにすることが出来た。

論 文

1. 清水真哉：「一般ドイツ自転車クラブ」の理念と活動，交通権 17，24～33，2000. 原著

学会抄録

1. 清水真哉：ヨーロッパの交通問題NGO—その理念・歴史・活動，日本環境学会第25回研究発表会（仙台）予稿集，37～38，1999.（日本環境学会第25回研究発表会，仙台市）

3. 数 学 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教 授 菅野 隆三 統計学におけるノンパラメトリック法 (A79-1200-1)
混合分布に関する統計的推測 (A81-1200-2)
歯科学データの統計解析 (A90-1200-3)

2. 成果の概要

1) 歯科学データの統計解析 (A90-1200-3)

質問紙調査の回答データから個人の歯科的健康度を示す指標を作成するときの手順は、一般に次のようになる。①指標作成に用いる質問項目の選定。②各質問項目へのウエイト付け。③質問項目内の各回答カテゴリへスコアを与える。④歯科健康指標の算式をきめる。このような手順で指標を作成するとして、事前に回答データを統計的に分析して種々の情報を得ておくことが大切である。ここでは、回答データを統計的に分析することにより、指標作成の各段階における問題点に関して、どのような情報が得られるかを調べてみた。また、質問項目へのウエイト付けと回答カテゴリのスコア変動パターン、および指標算式におけるべき変換を種々に設定したときに、歯科健康指標の分布状態がどのように変わるかをシミュレーション的に検討した。これらの検討結果は、実際の指標作成に当たって参考になるものと思われる。なお、説明を具体的にするために、ここでは、本学社会歯科学研究室が平成6年度に都内の某企業で実施した質問紙調査より、50代男性169名のデータを例として用いた。

東歯大教養系研究紀要 16, 1~25, 2000.

論 文

1. 菅野隆三：質問紙調査による歯科健康指標の作成に関する統計的分析，東歯大教養系研究紀要 16，1～25，2000.

4. 物理学研究室

プロフィール

1. 教員と主研究テーマ

- 助 教 授 望月 隆二 加速度系における量子輻射 (A97-1240-1)
講 師 池上 健司 Black Holeに落ち込む粒子からの輻射 (A97-1240-2)

2. 成果の概要

1) 加速度系における量子輻射 (A97-1240-1, A97-1240-2)

なぜ回転する観測器が、正準量子化を通して定義された正しい真空においても反応するのかについては長い間の問題であった。我々はこの問題を、観測器の受ける反跳を考慮することで解いた。その反跳の影響はたとえ観測器の質量が無限大であったとしても残り、応答関数の中に現れてくる。このことが、等速直線運動している観測器はポアンカレ不変性から期待されるように反応しないのにもかかわらず、回転している観測器を真空の中でも反応できるようにしているのである。

Prog Theoret Physics **101**, 783~798, 1999.

3. 教育講演等教育に関する活動

講演者	年月日	演 題	学会・研究会名	開催地
望月隆二	1999. 7 .24	新たな物理学カリキュラム	東京歯科大学 平成11年度 教育ワークショップ	千葉市

論 文

1. Suga, T.⁽¹⁾, Mochizuki, R., Ikegami, K. : Recoil of rotating detector, Prog Theor Phys **101**, 783~798, 1999. 原著, (1)千葉大・大学院自然科学研究科

学 会 抄 録

1. 須賀孝之⁽¹⁾, 望月隆二, 池上健司 : 改良したUnruh-DeWitt detectorモデルによるresponseの値の評価, 日本物理学会講演概要集 **54**, 7, 1999. (日本物理学会 1999年秋の分科会, 松江市) (1)千葉大・大学院自然科学研究科 A97-1240-1, A97-1240-2

5. 化学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

- 教 授 小島 晃 超分子の構造と溶液内の構造 (A97-1310-4)
生体分子の非線形現象と麻醉薬 (A97-1310-5)
- 助 教 授 小林 暉子 含希元素鉱物の化学的研究並びに日本産鉱物の若干種についての再検討
(A76-1310-1)
- 講 師 中尾 和三

2. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
小島 晃	超分子の構造と溶液内の構造	信州大学理学部化学 科構造・計測講座	松本市	尾関寿美男
小島 晃	生体分子の非線形現象と麻醉薬	千葉大学理学部化学 科物質情報化学研究 室	千葉市	秀島 武敏

解 説

1. 小林暉子, 小島 晃: 科学物質データ-危険性の立場から-, 東函大教養系研究紀要 **16**, 26~31, 2000.

6. 生物学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

- 教授 高畑 悟郎 下等脊椎動物の消化管における内分泌現象の形態学的研究 (A74-1380-3)
 助教授 中村 弘明 下等動物の生体防御系に關与する細胞・組織の比較形態学的研究
 (A97-1380-5)

2. 成果の概要

1) 下等動物の生体防御系に關与する細胞・組織の比較形態学的研究 (A97-1380-5)

軟体動物に同種異系個体を認識する能力があるか無いかを調べるために、ヤマナメクジを用いて、背部の皮膚移植実験を行った。軟体動物において、異系移植片 (allograft) を正常な位置に移植する (orthotopic transplantation) ことに成功したのは、本実験がはじめてである。自己移植片と異系移植片は共に、長期間生着したが、異系移植片において、マクロファージの長期的浸潤がみられるなど、組織学的に慢性的な移植片拒絶を示す兆候が観察された。この観察から、軟体動物にも、アロ認識機構が存在することが強く示唆され、同時にナメクジ背部の皮膚移植は、免疫学的不適合性を調べる有効な方法であることが示された。

Zoolog Sci 16, 485-495, 1999

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
中村 弘明	下等動物の生体防御系に關与する細胞・組織の比較形態学的研究	1.北里大学水産学部 水族病理 2.千葉大学 海洋バイオシステム研究センター 3.獨協医科大学第2 解剖学教室	1.岩手県三陸町 2.千葉県天津小湊町 3.栃木県壬生町	1.渡辺 翼 2.菊池 慎一 3.古田恵美子

論 文

1. Yamaguchi, K.⁽¹⁾, Furuta, E.⁽²⁾, Nakamura, H. : Chronic skin allograft rejection in terrestrial slugs, *Zoolog Sci* **16**, 485~495, 1999. 原著, (1)獨協医大・医総研, (2)獨協医大・解剖

そ の 他

1. 八幡詩乃⁽¹⁾, 小川瑞穂⁽¹⁾, 中村弘明, 菊池慎一⁽¹⁾ : ハゼ科の海産魚ドロメ *Chasmichthys gulosus* における異物処理, 千大海洋センター年報 **18**, 11~15, 1999. (1)千葉大・海洋センター

学 会 抄 録

1. Yahata, S.⁽¹⁾, Ogawa, M.⁽¹⁾, Kikuchi, S.⁽¹⁾, Nakamura, H. : Elimination of intraperitoneally injected particulate materials through the body wall of the gobiid fish, *Chasmichthys gulosus*, *Zoolog Sci* **16**, suppl, 106, 1999. (日本動物学会第70回大会, 山形市) (1)千葉大・海洋センター
2. 八幡詩乃⁽¹⁾, 中村弘明, 菊池慎一⁽¹⁾ : ハゼ科魚類ドロメの腹腔内に投与された粒子性異物の隔離と排除, 日本比較免疫学会第11回学術集会講演要旨集 **11**, 23, 1999. (日本比較免疫学会第11回学術集会, 福岡市) (1)千葉大・海洋センター
3. Kikuchi, S.⁽¹⁾, Nakamura, H., Yahata, S.⁽¹⁾ : Retention and elimination of intraperitoneally injected foreign materials in the teleost, *Chasmichthys gulosus*, *Dev Comp Immunol* **23**, 702, 1999. (日本比較免疫学会第10回学術集会, 小山市) (1)千葉大・海洋センター
4. Atsuta, S.⁽¹⁾, Watanabe, T.⁽¹⁾, Nakamura, H., Kono, M.⁽²⁾, Furukawa, K.⁽³⁾ : Well developed splenic ellipsoids in Japanese conger *Conger myriaster*, *Dev Comp Immunol* **23**, 702, 1999. (日本比較免疫学会第10回学術集会, 小山市) (1)北里大・水産・水族病理, (2)東大・農・水実, (3)東大・農・水圏生物

7. 体 育 学 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 中村 光博 スポーツ活動の動機について (A98-1590-1)
バスケットボール, タイムアウトを考える (A99-1590-1)

2. 成果の概要

1) スポーツ活動の動機について (A98-1590-1)

バスケットボール部の男子部員から聞き取り調査を実施, バスケットボールをはじめた動機と年齢について調査した.

2) バスケットボール, タイムアウトを考える (A99-1590-1)

98年度教養系研究紀要において, タイムアウトの使用状況について発表. 99年度教養系研究紀要において, 試合への影響などについて, タイムアウトを考え発表. NBAのタイムアウトがどのように使われているかを調査した.

論 文

1. 中村光博：バスケットボール，タイムアウトについて考える（II），東京歯科大学教養系研究紀要 16，32～37，2000. 原著

学 会 抄 録

1. 徳永謙次⁽¹⁾，佐々木三男⁽²⁾，中村光博，真家和生⁽¹⁾，川之上 豊⁽¹⁾，高山一弘⁽¹⁾，上野優子⁽¹⁾，松本亜以子⁽¹⁾，尾形静香⁽¹⁾：バスケットボールにおける遠投距離と体力要素との関係，第50回日本体育学会大会号，557，1999.（第50回日本体育学会，東京），(1)大妻女子大，(2)慶大